資料No.３

「訓練カリキュラム検証・改善会議」の実施状況について

　「訓練カリキュラム検証・改善会議」は、地域の委託訓練を対象として訓練機関等の関係者でカリキュラム内容を検証し、地域における訓練ニーズを踏まえたより効果的な職業訓練への改善を図ることを目的に、地域訓練協議会の下に設置されております。

　令和2年度は、地域の求人・求職ニーズ等を踏まえ、以下の2コースを選定し、カリキュラム上の課題等に係る検討を行い、令和3年度中の開講に向けた準備を進めることとしました。

1. FP・簿記基礎科（eラーニング）

【選定の考え方】

新型コロナ禍の中、今やオンラインやリモートなど就業のあり方が大きく転換する節目を迎えている。

一方で、子育てや家族の介護、また、離島や中山間に在住し、容易にスクーリングができない状況にある方も少なくない。

こうした時代環境や状況下にある中、幅広い職種において求められるＰＣ等の技能や資格を身に付けるためのｅラーニングによる職業訓練は、島根県のニーズに合致した手法・内容のものと考える。

1. 介護・子育て基礎科

【選定の考え方】

これまで、東部高等技術校おいて、介護関連では、介護初任者研修や介護実務者研修に関するコース設定を行ってきた。

しかし、特に介護職員初任者研修に係るコースについては近年、定員を大きく下回る中で、どうにかコース成立してきている状況がある。

ついては、子育て支援関係の訓練を盛り込むことにより、安定した訓練生の確保や訓練生への幅広い就職の選択肢を提供できるとともに、人手不足である子育て・保育関連への求人にも対応できると思われるため、当該コースの設定が効果的なものであると考える。

＊「訓練カリキュラム検証・改善会議」開催状況

　開催日　令和２年７月１４日（火）、令和２年１２月２２日（火）

　参加者　島根県商工労働部雇用政策課　須山主任主事

　　　　　島根県立東部高等技術校　小塚副校長

　　　　　（独法）高齢・障害・求職者雇用支援機構島根支部　塩田求職者支援課長

　　　　　島根労働局職業安定部訓練室　矢野室長